

こまがね

市議会だより

2024.4.20

3月定例会

No. 101

ちょっと
ライチョウには
会いに行けませんでした…

平成30年7月に木曾駒ヶ岳で約50年ぶりに雌ライチョウ1羽が確認されました。中央アルプスのライチョウは一度絶滅してしまいましたが、令和2年度から環境省の保護事業が行われており、現在では80羽ほどまで増えました。



市内文化財探訪

今回は、長野県天然記念物
中央アルプス駒ヶ岳の
「ライチョウ」をご紹介します。

第4弾



藤井邦彦
広報広聴委員

これまで、「〇〇へ行ってきました」シリーズを掲載しておりましたが、今回は、ライチョウに会いに行くことはできませんでしたので、地域おこし協力隊の矢満田務隊員から写真をご提供いただきました。

ライチョウは捕食者から身を守るため、季節に応じて換羽を行います。冬は雪と同じ白色をしており、5月下旬ごろに夏羽へ変わります。

写真は今年の5月20日に撮影した雄ライチョウです。背中の部分が徐々に黒い羽へ変わっている様子が確認できますね。



中央アルプス
ライチョウ復活プロジェクト
(YouTube)

中山万宝
広報広聴委員



13人が登壇!
一般質問

P6~P13

- 令和6年度予算案を厳しくチェック!... P2~3
- 委員会審査報告 P4
- 議案等審議結果 P5
- モニター通信 P14
- 研修報告・磐田市訪問 P15
- 赤穂東小学校3年生が議場見学に P16



市議会
ホームページ



令和6年度予算案を厳しくチェック!

令和6年3月定例会は、2月22日～3月21日の会期で開催されました。令和6年度当初予算案をはじめ、条例改正案や令和5年度補正予算案などの議案を審議し、いずれも可決しました。

令和6年度当初予算は、3月13日～15日の3日間、議長を除く全議員による予算特別委員会を設置し審査を行いました。

一般会計予算 **163億円** (前年比10.5%増)

特別・企業会計予算 **106億1,749万円** (前年比3.7%減)

一般会計当初予算のポイント

(1) 駒ヶ根市第5次総合計画の3年目、重点プロジェクトや主要施策へ集中配分

子育て全力応援第2期スタート、共生社会や竜東振興拠点整備、カーボンニュートラルの具体化

(2) 令和5年度補正予算と一体的な推進

主要幹線道路整備、公園遊具更新整備、登山道の整備ほか

(3) DX戦略の具体化

デジタル技術による行政手続や地域課題に対応したサービスの創出

(4) 行財政改革プラン2022に基づく財政健全化の推進

予算案策定の経緯などを 全員協議会にて厳しく審査

予算特別委員会委員長 竹村 知子



3日間の委員会で活発かつ慎重な審査が行われ、一般・特別会計当初予算案など、10件の議案を原案どおり可決しました。少子化対策の屋内キッズスペース事業（あゆみ館リノベーション事業）については、令和6年度に基本設計として560万円、令和7年度3ヵ年実施計画に建設費として5,600万円が計上されており、その経緯・内容などを厳しく審査しました。適切な施設であるか、安全面や利用のしやすさ、子育て世代の要望を的確にとらえ設計すべきであることなど、議員から出された意見を市側に伝え、議会として引き続き注視していくことにしました。

自治組織の在り方検討

139万円

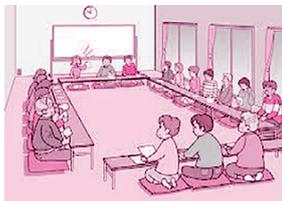
自治組織が抱える課題を研究し、さまざまな役割や基盤となる組織について、20年・30年持続可能な「駒ヶ根モデル」の創出に向け議論し、課題解決に向けた提言を行います。

在り方検討会の構成員はさまざまな立場から選出されているが、企業からの推薦はどのように選考したか。



回答

委員構成は、公募、区からの推薦、子育て世代、移住者、学生、アドバイザーなどであるが、企業からは商工会議所の推薦である。



屋内キッズスペース事業

560万円

雨天や夏の暑い日でも子どもが安心して遊べる屋内のフリースペースを確保し、親同士の交流、子育ての孤立や産後うつなどの減少を図り、幼児の健やかな成長を促進します。

- ① ふるさとの丘あゆみ館を改修するに至った経緯と位置付け、今後の活用と運用、整備費についての考えは。
② 類似施設の利用の検討はするのか。



回答

- ① 3ヵ年実施計画において検討してきた。キッズスペースやテレワーク環境などを整備する。運用方法は、社会教育課とも検討する。令和7年度に事業費5,600万円を計上する予定。
② 中心市街地において、アルパなどを検討したが適地がなく、広く公共施設を見直した。他の適地についても引き続き検討する。

スマート農業推進事業

500万円

スマート農業の導入により、省力化・効率化による経営規模拡大、高品質な農産物生産、誰もが取り組みやすい農業の実現を図ります。

- ①令和5年度のスマート農業機械導入にかか
る補助などの実績は。
②令和6年度の支援補助金と考え方は。



回答

- ①ラジコン式除草機の実証試
験を行ったほか、4農家に対
し機械導入にかかる補助を
行った。
②補助金400万円。導入により
横の連携ができる経営改善
の支援を行う。



企業誘致推進事業

9,173万円

市内における働く場の創出や経済・産業の活性化に向けて企
業誘致やテレワークの推進などに取り組みます。

- ①昨年実施した産業適地調査の結果を受け
立地ニーズの基礎調査を行うとしているが、
誘致する事業分野など何か意図を持った
活動をするか。
②駅前のテレワークKotoに市が新しいパソ
コンを導入する計画だが目的は。



回答

- ①研究型、内需型、既存企業との連携が図れる企業などの
「高付加価値産業」をターゲットに取り組んでいく。
②Macbookを導入することで、映像制作などクリエイティブ
業務に対応できるワーカーを育成し、受託できる業務の幅
を広げる。

重層的支援体制整備事業

1億4,713万円

担当各課で縦割りだった子ども期から高齢期までの施策を
統合。地域共生社会に向け、生活困窮や孤立・孤独状況の
方、ひきこもりの方、刑事施設出所者など、複雑で複合的な
課題を抱える市民をチームで支援を行います。ひきこもり状
態のある方へはアウトリーチ事業を行っています。

- ①複合的な課題を抱える人をチームで支える
多機関協働事業の司令塔は。②アウトリーチ
事業の担い手は。③参加支援事業の概要は。



回答

- ①多機関協働事業（教育、保健・医療、若年者支援、多文化
共生、消費者相談など）の司令塔は福祉課職員が担う。
②駒ヶ根市社会福祉協議会に委託する。
③これまで地域との関わりがない人を就労やいきいきサロ
ンなどにつなげる。

きつすらんど、まあるくなあれ♪事業

975万円

乳幼児とその保護者の皆さんが気軽に集い、一緒に遊んで
自由に交流できる子育て支援センター（きつすらんど、ま
あるくなあれ♪）を設置し、未就園児の子育て支援を行います。

- きつすらんどは土曜開館しているが、予算額
を上げて人を確保し、両施設とも土日開館す
る考えは。



回答

- ニーズ調査の結果やきつすら
んどの土曜日利用状況を踏ま
え、また、土日開館する場合、
休館日をどうするかなども考
え検討したい。



子育て家庭教育事業

1,907万円

子どもに関する相談や関係機関・部署の連携による子育て
支援や地域における連携支援体制の整備などを通じ、子育
て不安の解消や家庭教育力の向上を図ります。

- ヤングケアラーに対する支援体制と予算内
容は。



回答

子ども課として従来どおり支
援体制をとる。子どもに貸与
しているタブレットに新たに子
どもが直接相談できるヤング
ケアラー相談システムを導入
する。システムは子ども課の
子育て家庭教育係と学校教育
係につながる。



保育園幼稚園の運営と 私立保育園幼稚園の支援

7億631万円

園児の成長を地域全体で支え、特色ある活動を実践すると
ともに信州型自然保育を継続的に推進します。幼児期の健全育
成と地域への愛着の形成を目指します。

- ①食材費の高騰対策はやめたのか。
②会計年度任用保育士の研修は。
③JOCAが新たに設置するJ's(ジェイズ)
保育園の募集は市が行うのか。



回答

- ①賄いの基準単価を引き上げており、引き続き対応する。
②研修は保育協会の活動として実施しており、正規・非正規
ともに質の向上をめざして受けている。
③未満児保育の希望が増えており、市内の受け入れ可能な
園全体で調整する必要があるので市が募集する。

委員会審査報告

3月定例会では、2月22日、3月11・12・21日に常任委員会を開催しました。

審査議案の主な内容と質疑をお知らせします。

(最終的な議決結果は、P5の議案等審議結果をご覧ください。)

提出された議案は、本会議で直ちに採決する場合もありますが、より詳しく審査するため、所管の委員会に付託し、委員会として賛成・反対を決定します。



総務産業委員会

委員長：竹村知子 副委員長：池田幸代
委員：小林敏夫、今堀雷三、福澤美香、押田慶一、藤井邦彦

① 農業用ため池の地震耐性評価を実施

地震が発生した際に農業用ため池が安全かどうかを評価する地震耐性評価を実施します。(実施年度：令和6年度～令和7年度)



問 決壊などの災害を未然に防ぐということで地震耐性評価は重要であると思うが、どのような評価(判断)をするのか。

答 ボーリング調査により地質を見たり、水が流出しないかなど、地震に対してどのような影響があるかを、さまざまな角度から判断する。令和6年度～7年度で4箇所ずつ実施する。

問 馬見塚公園の池周辺は住宅がたくさんあり心配な部分もあるが、耐性評価は既に実施済みであるか。

答 平成27年度に実施済みである。

<議案第3号 令和5年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第12号) 予算額：1,300万円>

② 市外に転居した場合も消防団活動が可能に

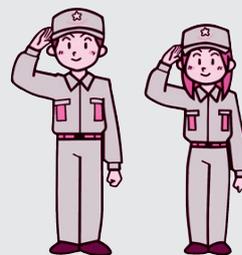
これまで現役の消防団員が、諸事情により市外へ転居する場合は、退団しなければなりませんでしたが、希望者には引き続き消防団員として活動できるよう、住所要件が緩和されます。(伊那市や伊南地域でも要件が緩和されています。)

問 市外に転居した場合、手続きは必要になるのか。

答 手続きは必要ない。

問 2つの消防団を掛け持ちすることは可能なのか。

答 1つの消防団に所属した場合は他の消防団には属さないことが基本となる。



<議案第12号 駒ヶ根市消防団条例の一部を改正する条例>

教育民生建設委員会

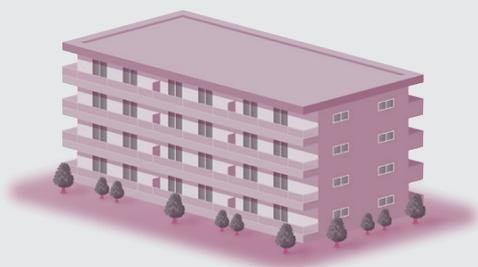
委員長：小原晃一 副委員長：中島和彦
委員：竹上陽子、竹村誉、氣賀澤葉子、中山万宝、宮下稔

① 市営住宅の入居資格要件を拡大

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)の改正に伴い、特に居住の安定を図る必要がある者の要件が拡大されます。

問 DVによる入居資格要件はどのようになるか。

答 DV防止法の規定により、裁判所に申し立てをした者が対象となる。今回の改正に伴い、対象が拡大された。心身など脅迫による危害が加えられて、裁判所に申し立てをしたことをもって要件を満たすこととなる。



<議案第8号 駒ヶ根市営住宅条例の一部を改正する条例>

② 0歳から2歳児の保育料を軽減

子育て世代を支援するため、0歳から2歳児の保育料を軽減します。

(1) 多子世帯の保育料負担軽減

現在	軽減後
第3子半額、第4子以降無償	第2子半額、第3子以降無償化

(2) 低所得世帯(年収360万円相当未満)の保育料負担軽減

現在	軽減後
第2子半額、第3子以降無償	第1子半額、第2子無償化

問 軽減対象とする未満児の多子世帯第2子80人、第3子46人は実数か、予測数か。

答 令和5年度の実数を元に計算した。



<議案第29号 令和6年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第1号)>

令和6年 第1回 駒ヶ根市議会定例会 議案等審議結果

● 専決処分の承認

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少
議案第1号	令和5年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第10号)の専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第2号	令和5年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致

● 市長提出議案

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少	付託委員会
議案第3号	令和5年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第12号)	原案可決	全会一致	総務産業 ※教育民生建設
議案第4号	駒ヶ根市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第5号	駒ヶ根市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第6号	駒ヶ根市基金条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第7号	駒ヶ根市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第8号	駒ヶ根市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第9号	駒ヶ根市下水道事業の設置等に関する条例及び駒ヶ根市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第10号	駒ヶ根市公共下水道条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第11号	駒ヶ根市水道事業管理条例及び駒ヶ根市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第12号	駒ヶ根市消防団条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第13号	令和6年度駒ヶ根市一般会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第14号	令和6年度駒ヶ根市用地取得事業特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第15号	令和6年度駒ヶ根市中沢財産区会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第16号	令和6年度駒ヶ根市介護保険特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第17号	令和6年度駒ヶ根市国民健康保険特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第18号	令和6年度駒ヶ根市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第19号	令和6年度駒ヶ根市駒ヶ根高原別荘地特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第20号	令和6年度駒ヶ根市水道事業会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第21号	令和6年度駒ヶ根市公共下水道事業会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第22号	令和6年度駒ヶ根市農業集落排水事業会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第23号	令和5年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第13号)	原案可決	全会一致	総務産業 ※教育民生建設
議案第24号	令和5年度駒ヶ根市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第25号	令和5年度駒ヶ根市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第26号	令和5年度駒ヶ根市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第28号	令和5年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第14号)	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第29号	令和6年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致	教育民生建設

※印は関連審査を行った委員会

● 議員提出議案

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少	
議 第1号	裏金問題の解明と政治資金の透明化を求める意見書【修正動議提出】	修正案可決	全会一致	意見書提出
議 第2号	国の権限を強める地方自治法改正案の慎重審議を求める意見書【修正動議提出】	修正案可決	全会一致	意見書提出

● 選任の同意

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少
議案第27号	副市長の選任について(小平操氏再任)	原案同意	全会一致

● 報告

議案等番号	議案等件名
報告第1号	株式会社エコーシティ・駒ヶ岳の経営状況を説明する書類について
報告第2号	駒ヶ根市土地開発公社の経営状況を説明する書類について
報告第3号	駒ヶ根高原温泉開発株式会社の経営状況を説明する書類について
報告第4号	一般財団法人駒ヶ根市給食財団の経営状況を説明する書類について
報告第5号	公益財団法人駒ヶ根市文化財団の経営状況を説明する書類について

市政を問う

一般質問

今回、**13人**の議員が
一般質問を行いました!



一般質問

議員が市政について自由に質問することです。質問内容は「通告書」により締切日までに提出します。



詳しくはHPへ

各議員のQRコードからYouTubeの録画動画をご覧くださいことができます。

質問時間は30分

一人当たりの質問時間は30分。答弁時間は含みません。30分を超えて質問することはできません。

※一般質問は、エコシティ・駒ヶ岳でも放送しています。一般質問項目の内容が、全て記事になっているとは限りません。

各議員のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、YouTubeから一般質問の様子が視聴できます。パソコンで視聴される場合は、「駒ヶ根市議会」で検索後、「一般質問録画中継」からご覧ください。(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。)

① QRコードをカメラやアプリなどで読み取ります。(お使いの機種によって操作方法が異なりますのでご注意ください。)



② 画面に表示されたURLを選択すると議員の一般質問ページ(YouTubeページ)が表示され動画が始まります。



一般質問項目

- 小原晃一**
 ● 令和5年度農産物の被害集計と支援策、今後の課題は
 ● 保育の質の向上のための現状把握と今後の対応策は
 ● 令和6年度施政方針と当初予算を問う
- 福澤美香**
 ● 保育園でのおむつ処分について
 ● 小学校高学年～中学生の下校後の過ごし方について
 ● 竜東振興プロジェクトの取り組みについて
- 竹上陽子**
 ● 不登校児童・生徒の居場所の拡充・財政支援について
 ● 未満児保育の支援拡充について ● 安心な暮らしを保障する公共交通について ● 住宅等耐震推進事業の実施計画は
- 竹村知子**
 ● 能登半島地震を教訓とした災害対応で地域防災計画見直しは
 ● 女性の視点での防災体制は ● 学校施設の安全対策は
 ● 防災広場の整備は ● 2地域居住や農家民泊の推進は
- 竹村 誉**
 ● 能登半島地震の教訓から当市の防災対策は
 ● 訪問介護サービスの報酬引き下げによる影響と対応策は
 ● 高齢者の孤独化の対策は
- 池田幸代**
 ● 駒ヶ根市の防災対策は
 ● 障がい者医療給付事業対象拡大は
 ● 地域公共交通は
- 今堀雷三**
 ● 大徳原の産廃問題について ● 駒ヶ根高原別荘地について
 ● 小町屋区小鍛冶線の歩道劣化について
 ● 令和6年2月5日の大雪について

- 小林敏夫**
 ● 能登半島地震について当市の対応は ● 災害義援金の取り扱いについて ● 駒ヶ根駅舎内の空き店舗活用について
 ● 保育園・幼稚園の耐震状況について
- 氣賀澤葉子**
 ● 現場の視点からみた保育環境の改善は
 ● 「子育て全力応援」の本来あるべき施策とは
 ● 行財政改革プラン2022に基づく財政健全化は順調か
- 中山万宝**
 ● 施政方針を問う（企業との共同、市民活動支援センターぱとなの役割と体制待遇改善、2つの氷河期の自然資源活用、中期財政計画作成提案、学校教育充実）
- 押田慶一**
 ● 能登半島地震から防災・減災対策のさらなる取り組みは
 ● 駒ヶ根のブランド戦略と情報発信の取り組みは
 ● 中心市街地未来ビジョンは今後どのように進めていくか
- 中島和彦**
 ● まちの活性化策として「ウォークابل」なまちづくりの推進は ● 旧福祉センター跡地の防災広場・防災備蓄倉庫の全容について
- 藤井邦彦**
 ● ウェクスラー式知能検査の充実について ● 糸平プロジェクトの進展と芦部信喜氏の今後の顕彰について
 ● 地域公共交通について ● 市民の声の反映について



小原 晃一 議員

問 令和5年度の不適切保育の
疑わしい事例は

答 1件あり対応しているところである



質問動画はこちらから

問 令和4年度の不適切保育の実態調査結果と令和5年度現在の不適切保育や疑わしい事例の有無は。

教育長 市内の各園に現状を確認した結果、令和4年度は不適切な保育はないと回答。令和5年度は疑わしい事例が1件あり対応している。

問 当市では、虐待と不適切な保育をどのように定義しているのか。

教育長 虐待は、身体的虐待・性的虐待・ネグレクト・心理的虐待の4つ。不適切保育は、①子ども一人一人の人格を尊重しない関わり、②物事を強要するような関わり・脅迫的な言葉がけ、③罰を与える乱暴な関わり、④子ども一人一人の育ちや家

庭環境への配慮に欠ける関わり、⑤差別的な関わり、と認識する。

問 予防対策として、当市独自の『不適切な保育防止対応ガイドライン』などを作成する考えはあるか。

教育長 現状、こども家庭庁のガイドラインで充分であると考え、運用の中で必要があれば検討する。

問 令和5年度の農産物被害状況把握と農家への支援は行うのか。

市長 人参・大根は水不足で出芽不良。コンニャクは玉のび不良。じゃがいもは降雨で小玉傾向。アンケート調査はせず、各地区会合や営農センターの会議で随時状況を把握している。個別支援については、収

入保険で対応していただきたい。

問 こども家庭センターの具体的な内容と体制は。

市長 全ての妊婦、子ども、保護者を支援する役割を有し、センター長と母子保健・児童福祉に精通した統括支援員を子ども課に配置する。



安心して通うためのガイドライン



福澤 美香 議員

問 小中学生が下校後に図書館などへ行ける循環バスの導入は



質問動画はこちらから

答 循環バスなどの交通手段は検討しない

問 子ども交流センターに通っていない子どもや小学校高学年～中学生が下校後に過ごせる場所が少ないように思う。遊びに行くにも車での送迎が必要な場合も多い。図書館などへ行ける循環バスの導入や学校の空き教室を利用することができないか。

教育長 各自下校後の時間の使い方を考えることは主体的に動くすべを養う機会であり、家庭における子育て力の向上にもつながると考えており、子どもたちに対して交通手段を検討する予定はない。また、放課後学習を実施している学校もあるので各学校に問い合わせしてほ

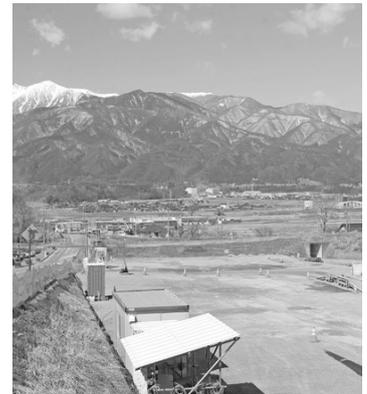
しい。

問 園で破棄するおもむつを、園児ごとに分別するのは保護者と保育士の負担では。分別することなく破棄するよう改善できないか。

教育長 各園の事情によりそれぞれ対応が異なる。現在は一括処分が6園、分別しているのは4園となっており、保護者の意見を聞きながらよりよい方法を検討していく。

問 竜東振興プロジェクトの今後の取り組みについて、アンケート調査数が少なく、民意があまり反映されていないように感じる。幅広い世代、地域や職業、企業の方々の意見を取り入れては。

市長 アンケート数としては判断基準に達しているので問題ない。これまで竜東開発委員会と市が連携し会議を重ね、必要に応じ説明会などを開催してきた。今後ご意見などを頂くためにも説明会などへ出席して頂ければありがたい。



埋め立て工事が進む新宮川岸地区



竹上 陽子 議員

問 民間団体の運営する不登校児童・生徒の居場所への財政支援をする考えは



質問動画はこちらから

答 昼間使用していない時間帯は利用可能
民間施設利用者への支援制度を実施する

問 不登校が増加している中で、居場所として、子ども交流センターを昼間開放し、財政支援をする考えは。

教育長 昼間使用していない時間帯は利用可能。民間施設利用者への支援については、県の制度を活用し連携して支援していく。

問 県は3才未満児保育料の第3子以降、無償化にする方向である。第2子も完全無償化する考えは。

市長 慎重に検討していく。

問 未満児保育の1才児配置基準6対1を5対1にする考えは。

市長 保育士確保などの問題があり、慎重に検討していく。

問 公共交通であるこまタクの運

行状況は。

総務部長 こまタクは平日1日4便、1日最大14台運行している。

問 福祉タクシー券・割引タクシー券の利用状況は。

総務部長 令和5年4月～12月の実績は、福祉タクシー券895人で交付枚数の46.8%、割引タクシー券は1,192人で交付枚数の34.4%である。

問 新たな仕組みづくりへニーズ調査をする考えは。

市長 地域公共交通計画に基づき隔年でアンケート調査を行っている。交通弱者が一体的に利用できる仕組みづくりについて調査研究を進めていく。

問 住宅耐震改修の補助金制度拡充の考えは。

市長 国・県・市で行っている補助金の上限額100万円を150万円までに引き上げる。国・県と連携を図り、制度を広く周知するとともに耐震改修を推進していく。



子どもの安心な居場所づくりを



竹村 知子 議員

問 能登半島地震を教訓とした災害対応で女性の視点にたった防災体制づくりは

答 避難所運営では保健師や保育士を配置し女性のニーズに対応する体制としている



質問動画はこちらから

問 能登半島地震を受け、災害対応の課題をどう認識されたか。

市長 高齢社会が進む中で災害に強いまちづくりをどう進めていくか、建物の耐震化などハード面と高齢者等要支援者の避難などソフト面の対策が重要と認識している。

問 内閣府の調査によると、災害時の避難生活における女性や妊産婦、乳幼児向けの備蓄が進んでいない。特に女性用下着、防犯ブザー、離乳食、おしりふきを備蓄していない自治体が多い。当市の現状と対応は。

市長 現在、生理用品や粉または液体ミルクは一定数備蓄しているが、下着や離乳食、防犯ブザー、おしり

ふきなど必要性を認識しているので早急に備蓄を進める。

問 避難所運営において女性や子どもへの配慮、ニーズなどの声を聴くなど、環境整備のために女性職員やスタッフなどを配置する考えは。

市長 避難所運営では、保健師や保育士を配置し、ニーズなどに対応できる体制となっている。

問 学校施設の耐震化、安全対策は。

教育長 定期点検で対策が必要と認められる箇所が見つければ緊急度の高いところから対応している。

問 関係人口の創出・拡大のために2地域居住を推進するための計画の策定や財政支援を行うことは。

市長 国、県の動向を注視し、時代に合った支援策を研究する。

問 教育旅行・インバウンド誘致などの取り組みに、農家民泊の推進は。

市長 ふるさとの家を軸に観光宿泊施設の受け入れに取り組み、農家民泊の体験メニューも検討する。



女性の視点での防災体制づくりは



竹村 誉 議員

問 令和6年度訪問介護基本報酬の改定で、訪問介護サービスが引下げられる見解は

答 介護人材の確保が喫緊の課題であり、今回の改正はそれに沿ったものとする



質問動画はこちらから

問 厚生労働省は令和6年度の介護改定・介護報酬見直し案を発表し、訪問介護サービスの基本報酬を引下げるとしている。人材確保悪化や事業経営圧迫、何より在宅介護崩壊にもつながると懸念するが見解は。

市長 訪問介護事業所の経営に影響が出ると認識するが、それ以上に介護人材の確保が喫緊の課題であり、今回の改正はそれに沿ったものと考えている。

問 高齢化が進行する中、同居人が居ても孤独を抱えての自殺が増えている。高齢者の孤独の解消が深刻な課題となっている。居場所づくりやケアの拡充策は考えられないか。

市長 生きがいを実感できる居場所などの環境整備をしていくことが重要。社会参画の促進を図り、孤独解消の取り組みを進めていく。

問 当市の配水系寸断で断水した場合、既存の水源を活用し、リスクを分散回避できる条件はあるか。

市長 企業団から受水と切石浄水場の二系統が主な水源。企業団送水停止でも、切石浄水場で竜西地区8割をカバーするが竜東の送水は不可能。切石浄水場不能の場合、企業団からの送水は標高差から不可能。

問 当市は給水車を持っていない。断水時の搬送や給水、被災地への人道支援など給水車の配備は必要

だ。導入するべきではないか。

市長 当市は応急給水タンクを保有し緊急時に対応しているが、車両一体型の加圧式給水車は維持管理などに課題があり配備していない。しかし、今後、災害支援などを複合的に勘案して、導入を検討する。



在宅介護に不可欠な訪問サービス



池田 幸代 議員

問 被災後の生活再建をサポートする
災害ケースマネジメントの備えは

答 危機管理課中心に災害対策本部をあげて
取り組む



質問動画はこちらから

問 災害発災後の被災者の生活再建のための「災害ケースマネジメント」準備状況と担当課、地域防災計画や地域福祉計画の位置付けは。

市長 危機管理課と関係課で連携。発災時には危機管理課を中心に災害対策本部全体で担う。国や県の動向により防災計画に位置付ける。地域福祉計画は次期改定時に検討。

問 発災時の飲料水・トイレ・風呂・洗濯など水回りの準備は。トイレは下水道復旧・汚物運搬・仮設トイレ設置など多岐で司令塔が必要では。

市長 地域防災計画で危機管理課を中心に既に方策を決めている。

問 福祉避難所利用希望者ニーズ

把握は。

市長 避難行動要支援者に対する個別避難計画策定の中で把握する。

問 多文化共生防災対策の展開は。

市長 「外国人市民のための防災・感染症対策ハンドブック」活用を。

問 障害者医療給付費事業による精神障がい者の入院費助成は。

市長 市単事業創設には600万円程度必要で現時点では難しい。

問 伊那谷～長野市を結ぶ「みすずハイウェイバス」存続の取り組みは。

市長 昨秋から継続に向けて協議。県が5,000万円の財政支援。

問 地域公共交通市民アンケートに市内循環バスを含めるか。バリア

フリーに向けて当事者委員参加は。

市長 含める。当事者には直接意見を聞く予定。

問 困難女性支援法施行に向けた体制整備は。

市長 女性相談員配置と女性相談専用電話を準備している。



温泉提供中の輪島 KABULET



今堀 雷三 議員

問 大徳原の産廃問題解決に向けて
長野県へもっと強く要望する考えは

答 地域の皆さんとともに、改善に向けた
要望など引き続き取り組んでいく



質問動画はこちらから

問 昨年9月29日に発生した廃タイヤ火災の原因と現在の状況は。

市長 燃え方が激しかったため、原因の特定ができず調査中である。法人の代表者は亡くなられたが、県を通じてご親族にお願いし、少しずつ整理されている状況である。

問 大徳原では地元で産廃対策の環境委員会を組織し、毎年、県・市担当者やパトロールと会議を実施しているが一向に改善されない。長野県へもっと強く要望できないか。

市長 地元の皆さんとともに長く取り組んできた経過があり、市も課題であると認識している。改善に向けた要望に引き続き取り組む。

問 駒ヶ根高原別荘地の空区画22軒について、不動産事業者など民間との連携により改善されてはどうか。

市長 別荘地については年間20件程度の問い合わせがある。また、遊休物件を不動産事業者の仲介により購入頂いたケースは14件ある。今後は新たなお客様に活用頂けるよう不動産事業者の皆さんと積極的に連携をとっていく。

問 小町屋区市道小鍛冶線の歩道の劣化が激しい。歩道の幅員も狭い上、ひび割れ、欠損、陥没などが見られる。駅へ向かう人や通学路でもあり危険であるが検討は。

市長 整備から長い年月が過ぎ劣化

が進んでいる。地元から要望があり今年度中に修繕工事を行う。

問 2月5日の大雪に対する総括は。対応は適切であったか。

市長 雪害対策本部を設置し、配備検討会を2回実施。交通の乱れや大きな混乱もなく対応できた。



産廃問題が長引く大徳原地区



小林 敏夫 議員

問 小中学校からの義援金をかほく市への募金として誘導できなかったのか

答 市町村へ独自で送る場合には情報を提供し個々で送ってもらうよう案内している



質問動画はこちらから

問 能登半島地震の被災地には当市と友好都市であり、災害時相互応援協定を結んでいるかほく市がある。現在、市役所の窓口には日本赤十字社の募金箱しか置いていない。かほく市行きの募金箱を設置する考えはないか。

市長 かほく市行きの募金箱は設置していないが、今後設置する。

問 今まで市内小中学校からの義援金は全て日本赤十字社へ送ったとのこと。送ってしまえば、お金はいつ、どこから、いくら、どこへ行ったのかは追えない。これを機に学校間交流から市民交流につながっていくと思うが、当市との関係を説明し

て、かほく市への募金となるよう誘導はできなかったのか。

市長 今回の地震で被災された県・市町村では独自に義援金の受付もしているため、情報を提供し個々で送ってもらうよう案内している。

問 駒ヶ根駅舎空き店舗活用について、JR東海が駅の空きスペースを地域住民に貸し出し、活動を後押ししていくとの情報がある。賑わいを取り戻すために、空き店舗の復活も含めて検討してみてもどうか。

市長 以前より高校生からも活用を求める声があった。JRがテナント誘致に向けて協議も進めている。

問 保育園・幼稚園の耐震状況の

現状と今後の状況はどうか。

市長 市の公共施設個別施設計画では、北割・美須津・すずらん・中沢保育園、赤穂南幼稚園が未実施。保育所の小学校区単位での適正な配置・規模を定め、10年を目途に進めていく。



提案により設置された募金箱



氣賀澤 葉子 議員

問 保育士の正規職員を増やすとともに、待遇改善に取り組むべきでは

答 低年齢児や特別な支援が必要な児童の増加により保育士の確保は重要な課題



質問動画はこちらから

問 保育士不足の中、正規職員の割合は約3割。若い女性の地元定着からも正規採用を多くしては。

市長 正規職員の保育士は、ここ数年52人ぐらいで推移。退職者人数の補充を基本に採用している。

問 非正規雇用の会計年度任用職員の保育士さんの中には、クラス担任を持ち、重い責任を担っている人もいる。待遇改善が必要では。

市長 責任の度合いに応じた処遇ができるよう、報酬体系の改善を令和7年度に向けて検討を進める。

問 保育園・幼稚園の適正配置を検討する際に、通園中の保護者の意見を大切にすることは。また、方針が

決まった後の移行期にも園の運営は継続する。この時も配慮が必要では。

市長 まず保護者のご意見を伺い、意見を反映する仕組みも計画案の策定と併せて検討を進める。

問 「子育てで全力応援」とは、子どもや家族からの相談や要望に真摯に向き合い、声を丁寧に聞き、その中から見えてきた課題に事業として取り組む姿勢ではないのか。出産後の乳幼児期の子育て支援は、少子化対策の範囲を超えないため、子育てを応援する施策といえるのか。

市長 全ての年代のお子さんが健やかに成長し、子育て世帯が子育てを楽しいと実感できる取り組みとし

て、個々に寄り添った政策にしていく。引き続き、安心して結婚し、産み育てられる社会を目指す。

問 行財政改革プラン2022に基づく財政健全化の推進は順調なのか。

市長 基金も積み上がり市債残高も減少。プランに沿って進めていく。



赤穂南幼稚園



中山 万宝 議員

問 施政方針を問う。市政において、企業との共同は不可欠であると思うが見解は

答 企業との連携は不可欠と考える。関係部署や商工会議所と連携して進める



質問動画はこちらから

問 市政におけるプロジェクトには企業と共同すべき項目が多くある。「少子高齢化、子育てプロジェクト」においては、男性の育児への関わりが少なく、育休推進は夫婦で子育てをするうえで重要。どう対応していくのか見解を。

市長 ワークショップなど若い世代の皆さんが集い、考える機会をつくり、企業・事業所の皆さんとともに子育てに参加しやすい環境づくりを進めていくことを考えている。

問 活躍の場づくりの中心的な「市民活動支援センターぱとな」の役割と体制・待遇改善は。

市長 「ぱとな」は市民活動の拠点

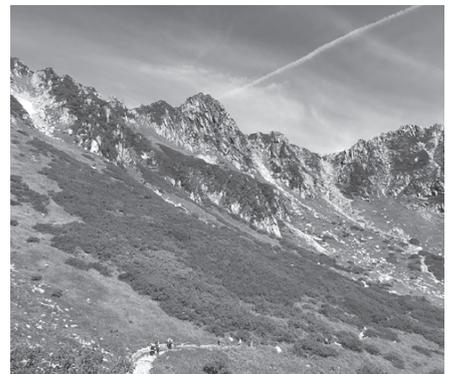
として設置。事業をコーディネートすることでスタッフのモチベーションも高まると考える。協会と市が事業内容を含め相談し進めていく。

問 観光資源として、氷河期の遺産であるライチョウと千畳敷カールがある。「氷河期」をキーワードにPRしてはどうか。

市長 千畳敷カールは、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の開通を見据え、周知できるようにしていく。ライチョウについては、「日本で一番簡単に会えるまち」をキャッチコピーに、保護と活用に取り組んでいく。「氷河期」をキーワードにした取り組みも併せて検討を進める。

問 現在の3ヵ年計画は将来起こりうる事業について反映していない。予測される大きな事業は計画に算入すべきと考えるが見解は。

市長 令和7年度に向け、中期財政目標を作り、財務運営や財政健全化の指針とし活用していきたい。



里からも見える千畳敷カール



押田 慶一 議員

問 能登半島地震からみる防災・減災対策の点検及び見直しを行う考えは

答 国県の防災指針も踏まえ、市の情勢を勘案し必要な見直しを進めていく



質問動画はこちらから

問 能登半島の地震を受け、市の防災計画及び防災ハザードマップの点検及び見直しをする考えは。

市長 駒ヶ根市の情勢を勘案し、今後も必要な見直しを進めていく。ハザードマップは内容を更新して今月下旬に全戸配布する。

問 災害時における「道路啓開計画」があるが、駒ヶ根市はどのような対応を考えているか。

市長 県はワーキング・グループを設置し会議を開催する。この動きを注視し必要な対応をとっていく。

問 災害時の2次避難先はできるだけ近い方がよいが、市内宿泊施設などとの協定状況は。

市長 早太郎温泉事業協同組合及びビジネスホテル1つと協定を結んでおり、必要に応じて開設する。

問 「こまかっぱ」はPRキャラクターだが、もっと発信して駒ヶ根のイメージ戦略として活用しては。

市長 お誕生会を開催するなど積極的に活用しており、各種グッズ販売も行って発信に努めている。

問 「それ、駒ヶ根でできます」はブランド戦略だが、まだ市民への認知度が低い。今後の活用は。

市長 ポータルサイトを立ち上げ、ロゴを使用したTシャツやポロシャツといったプロモーションツールも増やし、広くPRしていく。

問 中心市街地未来ビジョンは今後どのように進めていくか。

市長 中心市街地にさまざまな立場で関わっている皆さんで構成。費用については来年度予算に経費を盛り込んでいる。シビック・プライドにはシンボルも有効だと考える。



イメージブランドの情報発信は重要



中島 和彦 議員

問 まちの活性化策として「ウォーカブル」なまちづくりの推進についての考えは



質問動画はこちらから

答 中心市街地未来ビジョンで歩くことを楽しみながら回遊できる空間を創出する

問 国土交通省は人口減少などに伴う地域課題に向け多様な人材の集積・交流を促すために、居心地良く暮らしやすいまちづくりとして「まちなかウォーカブル推進事業（ウォーカブル：歩きたくなる、歩くのが楽しいといった意味）」を展開。市では、中心市街地未来ビジョンで、まちなか再生に向けて取り組んでいるが、「まちなかウォーカブル推進事業」に取り組む考えは。

市長 中心市街地未来ビジョンで、歩くことを楽しみながら、回遊できる空間を創出するという方針と施策を盛り込んでいる。駅前広場や商店街、文化施設など、まちなかの既存

資源を活用した回遊空間を形成し、賑わいの創出につなげていきたいと考える。

問 総合文化センター大規模改修を行うが、多くの市民の皆さまに利用していただき、駅から総合文化センターへの人の流れをつくり、まちなかを活性化する施策の考えは。

市長 まちなかと総合文化センターを歩いて回遊する流れを作る仕組みづくりが必要と考える。中心市街地未来ビジョンの検討を進める中で、具体的な施策を研究する。

問 旧福祉センター跡地に、食料や飲料水を保管する倉庫を備えた「防災広場」の建設が計画されてい

るが、目的と詳細は。

市長 中心市街地で200人余りを収容できる緊急避難場所。食料品などの品質を保つことを目的に整備をする。被災状況により、給水所や仮設トイレの設置場所と位置付けることができると考える。



歩くのが楽しくなるまちなかへ



藤井 邦彦 議員

問 発達特性のある子どもを理解するためにWISC(ウィスク)検査充実の考えは



質問動画はこちらから

答 検査の民間委託も行いつつ、引き続き丁寧な対応ができるよう体制を維持したい

問 WISC検査の受検機会を増やすため、民間の有資格者を増員して検査体制を充実させる考えは。

教育長 就園児には公認心理士2名、児童生徒には特別支援教育士1名と教員3名で対応している。民間委託も行いつつ、引き続き丁寧な対応ができるよう体制を維持したい。

問 田中平八氏の業績などに関心が持てる常設展示による顕彰も必要と考える。市は糸平フェスティバル以外の顕彰方法をどう考えるか。

市長 駒ヶ根シルクミュージアムでの繭の新たな活用や蚕の動態展示などについて方向性を出した。蚕の動態展示に加え、天下の糸平が財

を成した業績やシルクの取引による功績を理解できる展示を行う。

問 地域公共交通構築は官民連携を深掘りし、さまざまなことを考え調整する専従者が必要と考えるが。

市長 地域公共交通協議会で官民連携している。運営には民間コンサルタントの支援も受けている。

問 市民満足度調査で「市政に市民の声が反映されているか」という項目の満足度が、令和5年度は57項目中56位、令和3年度以前は最下位。この項目の結果は、市民目線の施策・事業が行われているかどうかを物語る指標の一つだ。結果をどう捉え、対処していくべきと考えるか。

市長 市長と語り合う会やテーマを設定しての意見交換を行い、市民団体などの集まりに出席、市政懇談会も開き意見を聞いている。また、さまざまな計画を策定する際には、幅広い年齢層の方から意見をもらえるよう取り組んでいる。



迅速な地域公共交通網再構築が必要



市議会では、より多くの市民の皆さまに「市議会だより」を読んでいただけるよう、議会広報モニターを設置し、ご意見・ご感想をいただいています。現在のモニターの皆さまは、令和6年3月をもって2年間の任期が終了となりました。

今回、2年間の活動を通じた感想などをお聞きしましたので、その一部をご紹介します。



**政治を身近に感じていない市民でも
関わり方が発見できるような内容に!**

宇戸ナンシー理沙さん



駒ヶ根へ転居し日が浅い中での活動でしたので、駒ヶ根についていろいろ知る機会になりました。どうもありがとうございました。

民意を反映するために市議会の役割があると思います。市議会だよりを通じて湧いた疑問や意見を、どのように届けたら良いのか、そんな手立てはあるのか、政治を身近に感じていない市民でもこんな関わり方があるのか、と発見できるような内容になっていくと良いと思いました。

**私たちモニターの意見が市政に
反映されていれば光栄!**

久木禎子さん



議会について詳しくありませんでしたが、この2年間のモニター経験で市政に少し歩み寄れたかと思えます。駒ヶ根市をよくするために、私たちモニターの意見が市政に反映され、今後は若いモニターさんの意見も聞けるといいですね。

「住みたい街」が「住みやすい街」に。駒ヶ根市のランキングが上位だったと知らずに移住してきましたが、素晴らしいところです。これからも1ターンの方が増えるよう、大いに企業誘致を進めていただけたらと思います。

改めて議員さんの日頃の活動に感謝します。ありがとうございました。



直接議員さんとお話できたこと、議場を見学できたことなど、貴重な体験をさせていただきました。



議会広報モニター会議
(令和5年7月)



モニターになった2年前よりも非常に読みやすくなったと感じています。モニターアンケートをスマートフォン(LINEなど)で回答できるようになれば、若い世代がモニターを引き受けてもらえるのではと感じました。



一般質問動画を見る限り、さらに踏み込んだ内容の質問をしても、市側は先に述べた回答を繰り返すなどの外れの答弁であることが散見されます。議員や市民を軽視した言動ではないかと思えます。市側の対応は横柄な態度であり、傲慢さを強く感じます。市側は襟を正して真摯に取り組んでほしいと思います。また、「市議会ホームページ」「一般質問動画」を広く市民の皆さまに拝聴されるような工夫や呼びかけをお願いしたいと思えます。

2年間の活動により、駒ヶ根市議会についてとても勉強になりました。また、議会や議員の皆様への親しみも強く感じました。駒ヶ根市は議会も行政もすばらしいといつも思っています。これからも両者が互いへのリスペクトとともに適度な緊張感を持ち続け、駒ヶ根市政を健全に市民のために進めていってほしいと願っています。最後になりましたが、議会事務局の皆さまの真摯なお仕事ぶりに、いつも敬意を抱いていたことをお伝えします。



普段無関心なことにも心を寄せて、伝える側の努力や心遣いなど、少しだけ市政に積極的な思いを持つことができました。個人の意見や個人のできることはたいしたことではないけれど、少しずつでも関心を持つ人の数と力と思いが大きな明るい未来に影響してくれることを期待します。

モニターの皆さん、2年間大変お世話になりました。誠にありがとうございました!



研修報告

議会と議員のレベルアップへ

駒ヶ根市議会では、市政の発展・向上のため、また見識を広げるため、年間を通じて議員研修を実施しています。11月・1月に実施した研修についてご報告します。

データで見る駒ヶ根市の地域経済

令和5年11月10日(金)

講師：株式会社日本経済研究所 産業戦略本部 上席研究主幹 鶴殿 裕 さん

RESAS(地域経済分析システム)のデータを用いて、駒ヶ根市の地域経済循環について研修しました。RESASは経済産業省が提供するデータシステムで、人口マップ、地域経済循環マップ、観光マップ、まちづくりマップなどにより、各データを視覚的に確認・比較できるものです。

データ分析を通じて、製造業が地域経済を支えていること、多くの滞在人口があるものの来訪者や市民が市内消費に恵まれていないこと、地域の魅力を発信するローカルビジネスが育っていないことなど、駒ヶ根市の実態把握と課題、取り組むべき施策などについて、他事例をご紹介いただきながら講演いただきました。



RESAS
(地域経済分析システム)
ウェブページより



予算決算と政策運営

令和6年1月12日(金)

講師：一般社団法人地方公共団体政策支援機構 上席研究員 長内紳悟さん

長内さんを講師にお迎えし3回目の研修となった今回は、前回研修を振り返りつつ、議会の役割と機能や対話の重要性、政策目的と手段、データと思いこみなどをはじめ、予算決算に係る事前事後の検証の重要性などについて説明いただきました。

常任委員会ごとのワークショップでは委員会審査や行政視察、事業評価など1年間の活動について振り返りを行いました。決算に係る9月定例会での事後検証、予算に係る3月定例会の事前検証はもちろんのこと、その間の150日の活動がいかに重要であるかを改めて感じる機会となりました。今後、議会機能向上推進委員会を中心に委員会活動の見直しなど、さらに何をすべきかについて検討していく予定です。

静岡県磐田市議会を訪問

令和6年1月23日(火)～24日(水)

1月23日～24日の日程で友好都市である静岡県磐田市を訪問しました。新築された1,500人収容の文化会館や小中学校一体校舎、南海トラフ地震に備える延長11kmに及び防潮堤築造現場などを視察。磐田市政の勢いを感じつつ両市議会の友好を深めてきました。



磐田市
イメージキャラクター
ひっぺい
©磐田市



対面式



かたりあ(磐田市民文化会館)



安久路公園(駒ヶ根の森)



津波避難タワー

赤穂東小学校3年生が議場見学に訪れました



2月13日に赤穂東小学校3年生70人が社会科見学の一環として議場見学に訪れました。最初に駒ヶ根市や市議会に関するクイズに挑戦いただいた後、答え合わせをしながら市役所や市議会の仕事などについて学習しました。質問タイムでは、児童の皆さんからたくさんの質問や要望が出されました。



赤穂東小学校
3年生の皆さん、
こんにちは！

①小原議長より歓迎のあいさつ



議員さん
教えて！

②駒ヶ根市や市議会に関するクイズに挑戦



駒ヶ根市の良い
ところをもっと
PRして！

議長さんが休ん
でしまった場合
は誰が代わりを
するの？

議長さんと市長
さんはどちらが
偉いの？

ショッピング
モールがほし
い！

体育館を利用
するときになぜ
お金を払うの？

中沢や下平に
もっとお店がほ
しい！

③質問タイム



後日、児童の皆さんからお礼のお手紙をいただきました。赤穂東小学校3年生の皆さんありがとうございました！



⑤最後にみんなで記念撮影



座り心地は
最高！

④実際に議長席に座ったり、演壇に登ったりして、議員気分を体験

「議会改革度調査2023」トップ300が発表されました

この調査は、2010年より早稲田大学マニフェスト研究所が全国1,784議会(回答数:1,562議会)を対象に実施しているもので、調査結果をもとに議会改革の取り組みや傾向など「情報共有」「住民参画」「議会機能強化」の3つのカテゴリを数値化しランキングにしているものです。



駒ヶ根市議会は、全国**128**位(長野県**8**位)という結果で、昨年に引き続きトップ300にランクインしました。今後もさらなるレベルアップを図り、市民の皆さまに信頼される議会を目指し頑張ります！

新議員を紹介します

1月21日の駒ヶ根市議会議員補欠選挙の結果、福澤美香さんが新たに市議会議員となりました。



住 所	下平区
党 派	無所属
所属委員会	総務産業委員会

議員15人中、女性議員が5人となり、女性議員の占める割合が約33%になりました。(全国平均約18%)

編集後記

昨年4月の市議会議員選挙により広報広聴委員会のメンバーは8人中5人が新人となりました。会議や編集作業では新鮮な意見が出され、新しい風が吹いています。

また、3ヶ月おきに開催される定例議会の一般質問の傍聴にも、新人議員の多くの関係者が訪れ、議会への理解が増えつつあります。2月13日には、赤穂東小

学校3年生の皆さんが、議場見学に訪れました。私たち議員もうれしい限りで説明にも力が入りました。

「大衆は大知である」といわれています。住民は行政についていろいろと考えており、知恵や知識を持っている、との意味。議員は、市民や弱者の声の代弁者であることを忘れてはいけません。

(小原晃一)

広報広聴委員会

委員 長	宮下 稔
副委員 長	今堀 雷三
委 員	竹上 陽子
委 員	小原 晃一
委 員	押田 慶一
委 員	藤井 邦彦
委 員	中山 万宝
委 員	竹村 知子